

沿革

1946年（昭和21年）「静岡登攀会」として発足。

発起人は、山本朋三郎（初代会長）、磯野謙二郎、佃泰誠、他1名。

1949年（昭和24年）「静岡登山とスキーの会」と改名。

1955年（昭和30年）「静岡山岳会」と改名。現在に至る。

会報第1号「木椀」を発刊。但しNo.100となっている。

1965年（昭和40年）「木椀」復刊第1号。

1966年（昭和41年）山行報告No.7～9。

1968年（昭和43年）「静岡山岳会会報」No.10～13。

1969年（昭和44年）「会報」No.14

名称が単に「会報」となる。

1970年（昭和45年）「会報」No.15

「岳人」及び「山溪・エバニュー」会報賞受賞。

1995年（平成7年）「会報」No.32

編集後記に「しばらく途絶えていた正規「会報」が何年ぶりかで復活した」とある。

1996年（平成8年）創立50周年記念祝賀会。101名参加。

会報33号「山毛櫨」（名称を変更し、以後年1回発刊で現在に至る）。

2018年（平成30年）会報56号「山毛櫨」（B5版がA4版になる）。

2019年（令和元年）会報56号「山毛櫨」発刊。

2019年（令和元年）会報57号「山毛櫨」

コロナ禍のため、1年遅れて2021年（令和3年）6月に発刊。